



「典礼の式文とことば」

カトリック谷山教会 主任司祭 トマス頭島光

今、注目を集めている新しいミサ典礼は、その式文とことばによく特徴が表れています。つまり、今回のこの改定で典礼式文のほとんどが口語文に統一されています。これまで慣れ親しんできた「あわれみの賛歌」では「～たまえ」と唱えてきましたが、「主よ、いつくしみを」となり、「聖なるかな」も「かな」が取れて「聖なる、聖なる」と文語調を残しながら神に賛美を捧げる形になっています。その他、「いと高き」の「いと」がなくなり、「感謝し奉る」が「～を捧げます」と平易になりました。このように、これまでの調子とは少し違う口語調に統一されることで、一体感溢れる典礼になるのではないかと期待します。これまでの文語体交じりの典礼文に、それほど違和感はなかったかもしれませんが、でもよく見ると、多少の違和感もあったと思います。いずれにせよ、新しくなった典礼式文を改めて読みながら、新感覚で日本語の美しさを捉え直し、心合わせて臨みたいと思います。

◆日本の適応

第二バチカン公会議における典礼刷新において、よく使われた表現に「適応」という言葉があります。その意味は「福音の本質を変えることなく、時代、場所、異なった文化のなかで、福音の表現を変え、そのより深い理解、受容を目指すこと」とされています。分かり易く言うと、マリア様に着物を着せてみたということです。日本文化である着物を羽織ったマリア様は、それでも神の母であり聖母です。まったく違和感はありません。このように福音を曲げずに日本の文化でマリア様を表現できるのです。でも、さすがに着物を羽織ったイエス様を見れば、違和感を感じるでしょう。それはなぜか。この際、一度、再考してみませんか？

◆改宗目的での宣教

宣教活動が盛んになった中世期の、特に欧州からのキリスト教宣教師は現地人の宗教、文化を高く評価していて、そこから信頼関係を築きあげることに腐心していました。つまり、「適応」という視点から宣教政策は称賛されたのです。しかし、あくまで改宗こそ、宣教の目的とされていました。当時、日本語で典礼が行われることは勿論ありませんでした。ラテン語典礼が公式典礼であって、現地語は使われることはありませんでした。ですから例えば、告解はコンチリサン、祈りはオラッシュと、ラテン語のまま表記されました。よく知られているのが、「メアクルパ、メアクルパ、メアマキシマクルパ」です。胸を三回叩いて、罪の告解をしたのです。これが1965年から変わったのです。



◆回心の祈り

日本語のミサ典礼が始まったのが1975年です。そこで、まず私たちの祈りがこの「回心の祈り」です。先程のラテン語時代の「メアクルパ・・・」は、祈禱書では「わがあやまちなり、わがいと大いなるあやまちなり」と訳されていて、当時のミサ中で、この「回心の祈り」を罪の告白の祈りとして胸を三回叩きながら、祈っていました。こうして、神の前において、私は罪人であるということを強く意識したのです。これが1975年版の日本語のミサ典礼書では、「しばしば、罪を犯しました」と訳され、柔らかい表現となって唱えられるようになりましたので、自らの罪深さを叩き込むほど厳しく意識することはなくなったのです。

◆神に向かう心

公会議後、回心するとは、我が罪を強く意識することではなく、むしろ神に立ち返って新しい人として生きることと理解されるようになりました。神は罪を罰するお方でなく、赦されるお方であり、回心して立ち返る者を喜ばれるのです。ですから、私たちは、罪から解放された者として神に従って生きるのであって、罪は悔いつつも、愛を生きるという姿勢に変わったのです。私たちが、自ら罪深い者であることは変わりませんが、しかし、そのことを素直に認めつつ、赦しを与えてくださった、神に向かって祈るのです。私のような罪深い者のためにも、イエスは自らご自分の方から、人となって歩み寄って来て下さるのです。これこそ、まさに「神に賛美と感謝」の典礼ではないでしょうか。



3月の教会歴より

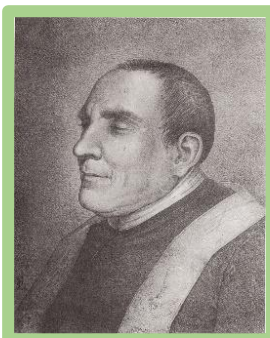
3月15日 レデンプトール会の聖人（記念日）

聖クレメンス・マリア・ホフバウアー司祭

(1751年12月26日～1820年3月15日)

◆新しい風はアルプスを越えて

修道会が創立されて半世紀が過ぎた1784年の秋、二人の巡礼者がローマにやってきました。そのうちの一人がパン屋の息子のクレメンス・マリア・ホフバウアーでした。彼は友人のタデウス・ホイベルと共にローマにあるレデンプトール会修道院サン・ジュリアンの門を叩き、本会への入会を願い出て会員となったのです。それから、二年後の1786年、弱冠35才でホイベルと共に司祭叙階され、再びアルプスを越えてウィーンの街に戻り、修道院設立の願いを出しました。許可が出るまで、このウィーンの街で過ごした後、二人の神父は、凡そ3カ月をかけて、アルプスを越えて、戦争のため荒廃し領土の分割に喘ぐ国、ポーランドのワルシャワに向向いたのです。



◆ウィーンからアルプス山脈を越えて

ワルシャワの大司教サルツは、この若い二人のレデンプトリストを好意をもって迎え「私は、あなたがたの会の創立者アルフォンソ司教をよく知っています。あの方は確かに聖人のような人で、とても尊敬しています。私もあなた方に期待しています。是非、聖ベンノ教会のことをお願いします。そこにいるドイツ人のために働いて下さい」と言われたのです。彼等にとって聖ベンノ教会はまるでごみダメのようでしたが、ここを拠点に宣教司牧活動が始まったのです。修道院を建て孤児の救済に奔走し、辻説教等を通して打ちひしがれた人々の霊的援助に努力を惜しみませんでした。また孤児院を開設、更に学校をつくり、病床にある兵士たちを励ます活動を精力的に行いました。やがて、あらゆる階級の人々から親しまれ、風前の灯火だったこの街のカトリック信仰を再び燃え立たせたのです。

◆世界のレデンプトール会へ

聖人クレメンスはドイツ人最初のレデンプトール会員であるだけでなく、レデンプトール会が今のような世界にあまねく広がる修道会になったのは、彼の働きの成果とされています。教会史上でも名高い司祭でホフバウアーの名が示す通り“樅の木の人”と呼ばれるほど強い信仰を持った、クレメンスのワルシャワでの精力的な宣教活動の實りによって、それまでイタリア国内のみの修道会であったレデンプトール会の名は創立からおおよそ90年が過ぎて、アルプス山脈の北側に一気に広まり、世界のレデンプトール会にまで発展したからです。

後に「ウィーンの使徒」とも呼ばれるようになったクレメンスは1820年3月15日、神の御許に召され、1909年には聖人に列せられました。彼のご遺体は現在、ウィーンのマリア・シュテューゲン聖堂に安置されています。 -頭島光神父様より-

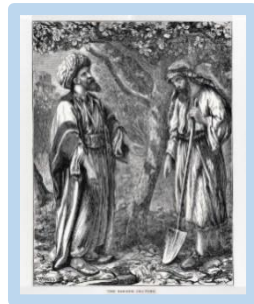
今年は、3月2日灰の式より四旬節に入ります。

四旬節はただ節制をするというより、自分と神様との関わりをもう一度見つめ直す時だと思えます。イエス様が一番願われることは、弱さを持った人間である私たちが神様とはどういう方かを知ること、そしてその心に触れることです。そして私たちもその心に倣い、同じような生き方をするようになることです。

-教会誌より-

その心

ぶどう園の持ち主がぶどう園にいちじくの木を植えていた。彼は実を捜しに来たが見つからないので、園丁に「これまで3年間待っているが実がならない。土地がむだになるから切ってしまいなさい」と言った。すると、園丁は「ご主人様、もう1年待ってください。まわりを掘って肥料をやってみますから。そうすれば実がなるかもしれません。それでもだめだったら切り倒してください。」といった。



(ルカ 13・6-9)



ハンス・ハヌス神父様
一心に残ることばより

意義のない仕事は、
苦役にひとしい。
仕事のない人生は、
死に等しい。

仕事とヒマ

かんたん りんごとヨーグルトのケーキ

☆準備

りんごは皮をむき、芯と種を取り除いておきます。オーブンを180℃に余熱しておきます。

☆材料

- りんご 1個
- ホットケーキミックス 100g
- 無糖ヨーグルト 50g
- たまご(Mサイズ) 1個
- とかしバター(無塩) 30g
- 砂糖 30g
- 粉糖 少々

1台分 (レシピ クラシル)
[22×8×6 cmのパウンド型]

作りやすい分量です。
おためしください。



☆作り方

1. りんごは1cmの角切りにします。
2. ボールにAを入れ、泡だて器で混ぜ合わせます。
3. 全体が混ざったら1.とホットケーキミックスを入れゴムベラでざっくりと混ぜ合わせます。
4. 型にクッキングシートを敷き、3.を流し入れます。天板に乗せて、180℃のオーブンで30分焼きます。竹串を刺して生地がつかなければ焼き上がりです。
5. 粗熱を取り、食べやすい大きさに切り分けます。お皿に盛り付け粉糖をふって完成です。

2022年3月<ミサ典礼>の朗読及び先唱奉仕のお願い

3月になりました。2日の水曜日のミサから、今年の四旬節が始まります。40日間の回心の日々が始まるのです。勿論、我々がパパ様はテーマを掲げています。それは「たゆまず善を行いましょう」(ガラテヤ書6:9)です。決して、人生を諦めることなく、またコロナ禍にあって何もしないで待つでもなく、回心にふさわしい行いを実践に移し、その時を求めて祈りましょう。沢山の貯えができたので、安心して暮らしましょう等と愚かな考えは捨て、善を行い、愛を実践し、その実りを待ちましょう。ただ安心するのではなく、こちらから積極的に与えることで、共に喜びましょう。それが四旬節の時だからです。

ウイルス感染対策をしっかり講じて手指消毒、検温及びマスク着用し、聖堂内人数を30人程度に維持し、ミサは続けます。静かな黙想ミサのようですが、『蔓延防止措置』が解除されれば、また少しずつ元に戻していきたいと思います。それまで、しっかりと奉仕の心で神に賛美と感謝を捧げ、祈りましょう。引き続き協力願います。

- ◆受付での手指消毒及びマスク着用と検温、そして署名等のカード記入に協力願います。
- ◆三密回避として聖堂内への入場制限はこれまで通り30人です(*但し、典礼奉仕者を除く)
- ◆制限を超えるときは、玄関ロビーから参加して下さい。泣部屋は子ども連れ家族のみです。
- ◆聖堂内では座席番号の前に間違いないようご着席ください!換気、加湿はこれまで通りです。
- ◆聖体拝領は一列に並び、前後 1m程度、間隔を空けて前へゆっくりとお進みください。



■3月典礼の先唱及び朗読の役割分担は以下の通りです。

◇ 3月6日 四旬節第1主日 午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕 ● 1班
◇ 3月13日 四旬節第2主日 午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕 ● 2/3班
◇ 3月20日 四旬節第3主日 午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕 ● 4班
◇ 3月27日 四旬節第4主日 午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕 ● 5・11班

★さてオミクロン株は、少し勢いを減じつつあるかのように見えますが、まだまだ予断は許せません。しっかりと感染予防対策をしていれば、何とか防げるような気がしています。常に体調を整え、体を疲れさせ過ぎないように気をつけていれば、結構、安心は得られるのかなと思います。勿論、三回目のワクチン接種がまず第一なのかもしれません。そろそろ、皆さま終えるころかもしれませんね。 2022/3/1 主任司祭 トマス頭島光



灰の水曜日をもって、典礼暦年(教会カレンダー)では、四旬節に入ります。四旬節はもともと、洗礼の準備期間でした。復活徹夜祭に新しく洗礼を受ける洗礼志願者の準備として、イエスが公生活のはじめに砂漠で40日断食をされたことにならい、40日の祈りと節制をする期間としてはじめられたものです。

やがて、すでに洗礼を受けた人も洗礼を受けた時の志をもう一度新たにするために、全教会で行われるようになりました。

8世紀ころの教会では、もっぱら節制の期間と考えられていましたが、第2バチカン公会議は、洗礼準備期間として再度取り上げ、四旬節に読まれる聖書朗読と典礼は、洗礼志願者の教育に向けたものにしました。

四旬節は、キリストの死から復活への過越の神秘にあずかる信仰を確認する時なのです。

四旬節の典礼によって、洗礼志願者はキリスト教入信の初段階をとおして、すでに洗礼を受けた信徒は、洗礼の記念と償いの業をとおして、過越の神秘の祭儀にそなえます。四旬節の心を大切にしながら、この40日を過ごすように教会は勧めています。(聖パウロ女子修道会より)

令和4年(2022年)谷山教会03月の予定と祝日表(03月01日~03月31日)

日 時			典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会
1日	火	6:30	朝ミサ			
2日	水	19:00	灰の水曜日のミサ(大斎、小斎) ＜求道者勉強会シーズンVI＞12			
3日	木	6:30	朝ミサ			
4日	金	19:00	初金ミサ *19:30~十字架の道行き			
5日	土	19:00	四旬節第1主日のミサ 黙想会/主任司祭・徳之島へ		①	教会
6日	日	9:00	四旬節第1主日 6:30ミサなし メニヒ神父・来谷山(5,6日)	①		
7日	月	6:30	朝ミサ			
8日	火	6:30	朝ミサ			
9日	水	19:00	召命ミサ			
10日	木	6:30	朝ミサ			
11日	金	6:30	朝ミサ *19:00~十字架の道行き			
12日	土	19:00	四旬節第2主日のミサ/ひまわり幼稚園卒園式 黙想会/主任司祭・出水教会へ/ソジョン神父来谷山		②③	教会
13日	日	9:00	四旬節第2主日/6:30朝ミサなし 黙想会/主任司祭・大口教会へ/橋口神父・来谷山	②③		
14日	月	6:30	朝ミサ			
15日	火	6:30 祝日	朝ミサ 聖クレメンス・マリア・ホフバウアー(レデンプトル会聖人)			
16日	水	19:00	召命ミサ <求道者勉強会シーズンVI＞13			
17日	木	6:30 祝日	朝ミサ 日本の信徒発見の聖母			
18日	金	6:30	朝ミサ/性虐待被害者のための祈りと償いの日 *19:00~十字架の道行き			
19日	土	祭日 19:00	聖ヨセフ 四旬節第3主日のミサ/土曜の部<黙想会>19:00~20:30		④	教会
20日	日	9:00	四旬節第3主日/日曜の部<黙想会>9:00~11:30/朝ミサなし	④		
21日	月	春分の日	朝ミサなし/レデンプトル会助祭叙階式in初台13:00~			
22日	火	6:30	朝ミサ			
23日	水	19:00	召命ミサ			
24日	木	6:30	朝ミサ			
25日	金	祭日 6:30	神のお告げ 朝ミサ *19:00~十字架の道行き			
26日	土	19:00	四旬節第4主日のミサ		⑤⑪	教会
27日	日	6:30&9:00	四旬節第4主日/司牧評議会(司会4班、設営5, 11)	⑤⑪		
28日	月	6:30	朝ミサ			
29日	火	6:30	朝ミサ			
30日	水	19:00	召命ミサ <求道者勉強会シーズンVI＞14			
31日	木	6:30	朝ミサ			

今月の行事当番班は4班です

ロザリオの祈り	毎週火曜日 10:00~	1,8,15,22,29日
レジオ・マリエ	毎週水曜日 14:30~	2,9,16,23, 30日
聖書と教理-Ⅱ	毎週金曜日10:00~12:00	4,11,18,25日

*6:30早朝ミサなしは次の通りです。3月6日(日)、13日(日)、20日(日)、21日(月)、の四日間です。